

「鳥取方式」で公共施設の芝生化を

森 巨 議員（自民）

町長 モデル地域を決め、取り組んでいく



質問 児童生徒の健全育成、住民の憩いの場、環境問題等を勘案すれば、学校、保育園、グラウンド、公園等公共施設の芝生化が望ましい。町は今日まで、芝生の効果を認識しつつも経費等の問題から実施が困難であったと推察する。ところが、近年、これまでと比べものにならない安い経費で芝生化を可能にする「鳥取方式」が注目をされている。そこで、町でもこの方式を参考に芝生化を具現化するよう提言するが、町長、教育長の所見を伺う。



芝生化を予定している松原中央公園のゲートボール場

町長 町は、校庭の芝生化について調査したが、国や都の補助事業で整備したため、補助金の返還などの課題があった。しかし、地域住民と協働して芝生のポット苗を育成、移植し施工と管理費用を抑える「鳥取方式」と呼ばれる手法を用いた事例があると伺っている。そこで、モデル地域を決めて、試験的に芝生化を行い、その成果を見極めて、他の公園や校庭の芝生化に取り組んでいく。

こんな質問もありました
どう取り組む、町の全般的課題と地域課題。
町長 21年度に町民アンケートを行い改めて町民の意向を把握したい。

駅周辺整備及び駅舎の活用について

近藤 浩 議員（改革）

町長 駅東周辺はすっきりとした都市景観を形成



駅東口のロータリー

質問 箱根ヶ崎駅では、東口整備事業や西口区画整理事業が、都や町の重要事業として進められている。また、駅舎の活用も求められるところである。町の顔として、また地域活性化策としてこれらにどう取り組むかは大変重要だと考えるが、町長の所見を伺う。

こんな質問もありました
緊急対策本部の設置を。
町長 雇用不安の増大に備える段階であり、設置は考えていない。

観が形成され、また、駅前広場については広い間口となる予定。駅西側は、西口広場から羽村街道につながる計画道路が完成すれば、長岡地区をはじめ、駅西口を利用する方にとって、飛躍的に便利になると期待している。駅舎の活用については、消防法もあり、今以上の施設設置は難しいが、効果的な活用方法を検討していきたい。

小・中学生の医療費無料化を再度問う

上野 勝 議員（自民）

町長 10月に実施予定



質問 町の特殊出生率が減少し、将来推計人口も2030年以降減少する。少子化の進展は町の将来を揺るがしかねない問題であり、町でも子供と家庭を支援する施策を推進してきた。しかし、特別区と市町村では義務教育就学児医療費など格差が生じている。多摩振興プロジェクトで市町村総合交付金が増額される。これを活用して小・中学生の医療費無料化、少子化対策、まちづくりなどの施策をどのように充実してい



クラブ活動中の中学生（瑞中）

くのか、所見を伺う。
町長 小・中学生の医療費無料化は、通院1回200円の自己負担以外は、所得制限があるものの、21年10月から全額公費負担とする予定。また、多摩振興プロジェクトの少子化対策事業の活用として、認証保育所立ち上げ時の無利子貸付制度のPR、「赤ちゃん・ふらっと」の整備などを推進していきたい。他にも、幼稚園、保育園の耐震化についても実態把握を進めたい。まちづくりへの活用としては、エコ対策を絡めた住宅改修事業を実施していきたい。

赤ちゃん・ふらっと
外出時に利用できる授乳やおむつ替えなどのスペース。

横田基地の航空機騒音について

谷 四男美 議員（住民）



町長 騒音発生回数は毎年減少している

質問 米軍再編計画による横田基地の機能強化が高まり、自衛隊の移駐準備も進んでいるなか、最近、従来の輸送機による騒音から戦闘機への騒音が目立つようになった。町が談合問題に揺れているさ中の突然の石塚町長の軍々共用容認発言が影響していることはないのか。以前、私は防衛省に出向いたとき、瑞



町の上空を飛ぶC-130

穂町議会としては軍々共用化は認めていないことをはっきり述べてきたが、この航空機の状態変化はどのように認識しているのか。
町長 軍々共用化は、新たな航空機の移駐はなく、騒音被害等が発生しないという判断に基づき、日本と極東および世界平和の維持の観点から容認した。滑走路北側民家の騒音データでは、15年度には1万3,742回あった騒音発生回数が、毎年減少し、20年度1月末までで8,350回となっている。戦闘機の発生回数も17年度の半分以下で、騒音防止対策の要望活動の成果であると考えらる。